

# 平成31年度当初予算 『松山をつくる5つの柱』 に148事業176億円

# 笑顔広がる人とまち 幸せ実感都市 まつやま ～ 一人でも多くの人を笑顔に ～

「市民目線を大切に」「現地・現場を大切に」市民が主役のまちづくりを進める。「連携」「協働」でまちの力を引き出す、「継承」「発展」をキーワードに挑戦し続ける行政を目指す3つの基本姿勢のもと、「松山をつくる5つの柱」に重点的に取り組みます。

## 3期目もタウンミーティングを続けます



市長就任直後から取り組んでいるタウンミーティング。3期目から、市政情報や生活に役立つお知らせなども紹介。これからも市民の皆さんの気持ちに寄り添ったタウンミーティングを続けます。

## 39事業52億円 ① 子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくりま

### 拡充 児童クラブ室施設整備

児童クラブの対象学年を拡大するなど、増加する入会児童の生活環境を改善し、児童の健全育成を図るため、椿・石井東・雄郡の児童クラブ室を増設し、新たに約240人の受け入れを確保します。

### 新規 休日子どもカレッジ推進



県や大学と連携し、大学の空きスペースを活用して、長期休暇中の昼間、保護者のいない家庭の児童などを対象に、学びや遊びの場を提供します。

### 拡充 教職員事務（スクール・サポート・スタッフ配置分）

教職員の事務を支援するスクール・サポート・スタッフを小学校に配置することで教職員の負担を軽減し、児童への指導や教育研究などに注力できる体制を整えます。

### 拡充 待機児童対策・保育の質向上

待機児童対策と保育の質向上を目的に、基準を満たした上で1・2歳児を定員を超えて受け入れる施設への助成や、入所予約制の導入などで保育サービスを充実するほか、平成31年度からは、障がい児保育を担う保育士への助成を拡充します。

### 拡充 保育士等確保支援

保育士確保のため、資格取得への補助に加え、新任保育士への職場定着研修や保育士養成校の学生への出前講座を行うほか、清掃など保育周辺業務を行う職員を雇用する保育所などに対する補助を新たに実施します。

### 拡充 外国青年招致

小学校の新たな学習指導要領で外国語教育の授業数が増えるため、外国語指導助手（ALT）を増員し、児童・生徒に生きた英語を提供します。



## 23事業36億円 ④ 元気な産業を応援し、成長する松山をつくりま

### 拡充 道後温泉活性化

道後温泉本館保存修理工事の地域経済などへの影響を緩和するため、アート事業の継続や道後温泉別館 飛鳥乃湯泉の魅力発信、保存修理工事の観光資源化に取り組みます。また、年々増加する訪日外国人に対応するため、案内・誘導サインなどの多言語化など、受け入れ環境を充実します。



### 拡充 国際観光客誘致促進



台北市との友好交流協定締結5周年にあたり、さらに交流人口を拡大するほか、県などと連携し、台北便を含む国際定期便を安定運航し、路線を維持します。また、インバウンドの誘客などを進めるため、実態調査を行い、戦略的に観光施策を実施します。

### 拡充 クルーズ船誘致・受入推進

松山港に寄港するクルーズ船を誘致するため、外国のクルーズ船社への商談会などに参加し、松山の魅力をPRするほか、寄港時に歓迎セレモニーなどを実施します。

### 拡充 人手不足対策緊急支援



中小企業の人手確保に加え、業務効率化や離職防止に向けた職場環境改善、外部人材の活用を進めるなど、人手不足対策を行います。平成31年度からは、市内中小企業のオフィス業務を自動化し、生産性を高めるためのITツール導入へ支援を開始します。

### 拡充 産地競争力強化



担い手の育成・生産・販売まで、農業のさまざまなステージで支援し、ブランド商品の生産支援や販売促進に加え、成長が期待できる品目（アボカドなど）の事業規模拡大を支援するなど、産地としての競争力を高めます。

### 継続 農林土木災害復旧

平成30年7月豪雨で被災した農道・ため池・農地などの復旧を、引き続き全力で進めます。

## 26事業34億円 ② 誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる松山をつくりま

### 拡充 スポーティングシティまつやま推進



愛媛マラソンと台北国際マラソンでの相互交流や2020年東京オリンピック・パラリンピックの海外チームの事前キャンプなどの誘致を進めます。また、日米大学野球選手権大会をはじめとする国際大会など、スポーツを通じた交流や情報発信をします。

### 新規 文学賞運営

「坊っちゃん文学賞」を、俳句と同じく短いことばでアイデアを表現する「ショートショート」の文学賞に切り替え「ことばと文学のまち松山」を全国にさらに発信します。



### 拡充 ことばのちからイベント

「俳句甲子園」や「街はことばのミュージアム」など、ことばをコンセプトにした事業で「ことばを大切にすま松山」を市の内外に発信します。また平成31年度は、市制施行130周年記念事業で、落語のちからで松山を笑顔にする「(仮称)まつやま 落語まつり」を開催します。

## 31事業16億円 ③ みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくりま

### 新規 ヘリポート整備

緊急時に機動力を発揮するヘリコプターを島しょ部で有効に活用するため、中島地区の学校跡地にヘリポートを整備し、迅速で安全な離着陸体制を整備します。

### 拡充 防災計画策定

安全安心なまちづくりを進めるため、平成30年7月豪雨をはじめ、全国各地で発生した水害や地震災害から得られた教訓のほか、愛媛大学と連携した取り組みなどを反映させた地域防災計画に改訂します。

### 拡充 地域包括支援センター運営



地域の高齢者の総合的な支援を行う地域包括支援センターを市内10カ所から12カ所と1サブセンターに増やすほか、保健師などの専門職を増員し、相談支援体制を充実・強化します。

新たにオープンした地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

## 29事業38億円 ⑤ 自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくりま

### 新規 市駅前広場整備

公共交通の利用を促し、中心市街地のにぎわいを創るコンパクトシティのシンボル広場として、市駅前広場を整備するため、周辺道路の交通対策などを検討します。



### 拡充 移住定住促進（シビックプライド向上事業分）



新たに市内の大学生や専門学校生などによるプロジェクトチームを立ち上げ、チームの意見をもとにアプリを構築するなど、若者同士の情報発信や交流の機会を増やすことで、若者の定住やUターンを促進します。

### 拡充 松山スマートシティ推進

環境負荷を抑えたスマートシティの実現を目指し、太陽光発電や蓄電池システムなどの設置者を補助します。また、EV急速充電器の維持管理や、中島でスマートコミュニティの実証などを行います。道後地区にスマートフォンの充電ができるソーラー充電スタンドを新たに設置します。

### 拡充 地域におけるまちづくり推進



地域のネットワーク組織である、まちづくり協議会や準備会の設立と活動をさらに支援し、地域住民が主体的にまちづくりを進められる環境を整備します。

### 拡充 姫ヶ浜荘整備

愛ランド里島構想を進めるなど、離島振興の拠点施設で重要な役割を担っている姫ヶ浜荘が老朽化しているため、新たな施設を整備します。